

## 消火訓練・応急救護訓練を実施しました

部会員の防災スキルアップのために、南消防署で消火訓練と応急救護訓練を実施しました。

「消火訓練」は、消火栓からの放水を想定した訓練で、マンホールの蓋を開けるところから始め、「スタンドパイプ接続」「ホースの運搬と延長・接続」「放水」などを、消防隊員・消防団員の方々から説明・助言を受けながら体験しました。

実際に放水してみると思った以上に水圧が強く、筒先をしっかり支えなければいけないことがよくわかりました。鍛えている消防隊員以外の人は、2人で支える必要があります。

また、ホースなどの接続は、はめた後に一度引っ張って外れないかどうか確認しないと非常に危険だということを教えていただきました。

「応急救護訓練」は、心肺蘇生法（胸骨圧迫）の実技訓練と、止血・火傷の応急処置についての講義を行いました。

胸骨圧迫は力のいる動作ですが、場合によっては長時間続けなければならないので「腕で押さずに体重をかけて体全体で押すように」との助言がありました。1人だけで続けるのは大変なので「助けに人を呼ぶ」のも重要であるとのことでした。

一度の講習ではなかなか身につかないので、いざという時に自然と体が動くように、今後も継続して訓練を行っていきたいと思います。

